

平成23年 2月10日

気仙沼信用金庫

## カーボンオフセット通帳の導入について

気仙沼信用金庫(理事長 菅原 務)は、カーボンオフセットの仕組みを利用した「カーボンオフセット通帳」を平成23年 2月14日より導入します。

カーボンオフセット通帳の導入は、当金庫の環境保全活動の一環として実施するもので、今回は総合口座通帳1種類です。

### 記

#### 1. カーボンオフセット通帳の仕組み

当金庫が通帳を発注すると、発注した通帳の製造工程で発生するCO<sub>2</sub>(カーボン)を通帳発注先(株式会社 笠間製本印刷)が計量し、その排出量に見合う削減活動(クリーンエネルギープロジェクト)を、カーボンオフセットプロバイダに依頼して実質排出量を相殺(オフセット)させる仕組みのことをいいます。

#### 2. 投資するプロジェクト

プロバイダはドイツの世界的なカーボンオフセット専門会社、クライメートパートナーで、今回の投資対象とするプロジェクトは、水力発電(グアテマラ共和国)です。

#### 3. 発注の流れ

通帳発注            投資プロジェクト選択  
通帳発注先からプロバイダを通じ環境プロジェクト投資申込  
プロジェクト受付            CO<sub>2</sub>削減            プロバイダHP掲載

#### カーボンオフセットとは

カーボンオフセットとは、炭素(カーボン)を相殺(オフセット)するとの意味で、日常生活や企業活動において避けることができないCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについては、排出量に見合った温室効果ガスの削減事業(自然エネルギー利用や森林保護など)に投資すること等により、排出される温室効果ガスを相殺させる、という考え方です。

#### 4. クリーンエネルギープロジェクト

当金庫は、通帳を発注する都度、6種類のCO2削減活動(クリーンエネルギープロジェクト)から投資するプロジェクトを選択します。

##### 森林保護



植林による森林再生や、森林伐採を回避させる活動を行っています。

##### 風力発電



風力で電気を起こします。CO2の発生がないクリーンな発電方法です。

##### 水力発電



流れる水の力を利用した発電。CO2の発生がないクリーンな発電方法です。

##### バイオマス燃料



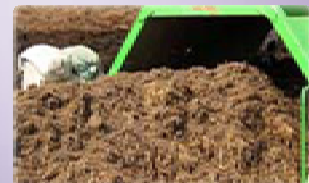
バイオマスを燃料に利用することで、電気や熱を作ります。

##### ガス利用



石油生産時、副次的に発生するガスを燃料として有効利用します。

##### 有機廃棄物の堆肥化



有機廃棄物を管理された条件下で微生物分解し、堆肥化させます。

#### 5. 通帳見本【別添】

カーボンオフセット通帳には見本のように専用の表示を行います。表示されているプロバイダHPより管理番号を入力することで、当金庫が選択したクリーンエネルギープロジェクトの種類等が確認できます。

【別添】

通帳見本



カーボンオフセットの仕組みを利用して発注した通帳には、裏面にこのような表示を行います。

カーボンオフセットを実施した管理番号と証明書を確認できます。

[www.climatepartner.com/](http://www.climatepartner.com/)  
管理番号  
995-53546-1210-1046



管理番号を入力すると企業名と活動内容を見ることができます。

プロバイダ(仲介業者)HP  
[www.climatepartner.com/](http://www.climatepartner.com/)

Project	緑谷口発電機
IKS-Number	995-53546-1210-1045
Date	Dec 20, 2010
Amount kg CO <sub>2</sub>	1,787
Climate Project	Hydro-electricity, Pueblo Nuevo Vinas, Guatemala
Climate Project Description	The project comprises a small 8.2 MW hydropower plant in the community of Pueblo Nuevo Vinas, Department Santa Rosa in Guatemala. The operator is Popales Elaborados S.A.
Kasama Inc.	 <a href="#">View PDF</a>



## Climate Projects

### Hydro-electricity Pueblo Nuevo Vinas, Guatemala

Goal of the project is to provide Guatemala with clean, reliable and renewable energy by using the water of the Aguacapa River, two Francis turbines and two 4.14 kV synchronous generators. In the first project phase the hydroelectric plant had a capacity of 8.2 MW which was increased up to 14.3 MW by now. It is operated by Popales Elaborados S.A. The project reduces CO<sub>2</sub> emissions by reducing the demand for energy that is generated from fossil fuels. The country's power grid is currently highly dependent on energy from oil, coal and diesel.



Download the description of this project as a PDF \*



Download all pictures from this project as a ZIP file \*



The "Poco Verde Hydroelectric Project" consists of a small hydroelectric